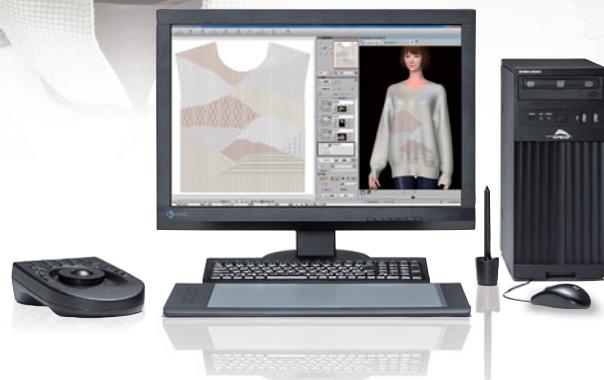
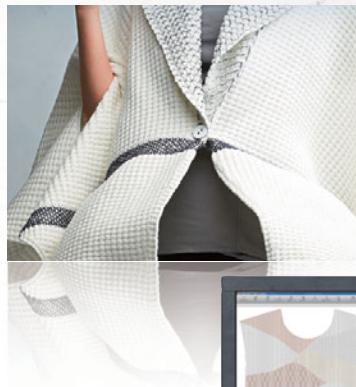
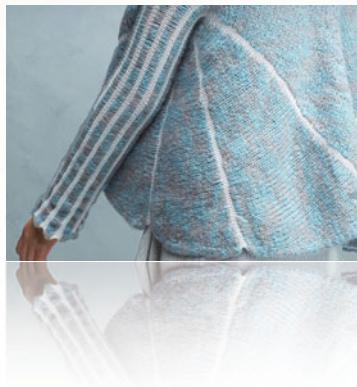


株主のみなさまへ

第55期 営業のご報告

2015年4月1日～2016年3月31日

- 1 会社紹介
- 2 社長メッセージ
- 5 財務ハイライト
- 6 事業別のご報告
- 7 特集: ITMA 2015
- 9 お客様事例
- 11 トピックス
- 13 CSR: 次世代への取り組み
- 14 アンケート結果
- 15 連結財務諸表
- 17 会社概要/株式概要



Ever Onward — 限りなき前進

当社は、「手袋編機の全自動化」という難課題を掲げて、現社長・島正博が1962年に創立しました。経営理念「Ever Onward—限りなき前進」のもと、常に新しい技術の開発を目指して、惜しみない努力と未知なる領域への挑戦を続けてまいりました。

創業以来、時代のニーズを先取りした横編機やデザイン

システムを次々と開発し、世界のトップメーカーへと成長。90年代には「産業革命に匹敵する」と評された無縫製の「ホールガーメント[®]横編機」の開発に成功しました。

今後も新たな技術開発へのチャレンジを続けながら、企画提案型のビジネスモデルの浸透を図り、アパレル産業のみならず、さまざまな産業の発展に貢献してまいります。

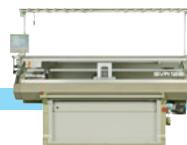
横編機 手袋編機



1964 全自動手袋編機



1995 SWG[®]



2013 SVR[®]



2015 MACH2[®]XS

デザインシステム



1981 SDS[®]-1000



2000 SDS-ONE



2015 *New* SDS-ONE APEX3

事業紹介



横編機事業

世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の主力ビジネス。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント横編機、ループプレッサーを備えたSRY[®]、コストパフォーマンスに優れたSSR[®]、さらに高速編成を可能とするSVRなど、独自の開発力を活かした豊富なラインアップで進化し続けています。



デザインシステム関連事業

アパレル業界をはじめ、さまざまな業界のものづくりを支援するデザインシステムを提供。高精細なバーチャルサンプルや三次元シミュレーションなどを駆使することで、多彩なデザインを可能にすると同時に！リードタイムの短縮とコスト削減を実現。また、自動裁断機P-CAM[®]シリーズによる異業種への展開も積極的に進めています。



手袋靴下編機事業

当社技術開発の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化を進め、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。



その他事業

当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア系の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。



代表取締役社長
島 正博

3期連続の増収とともに、
次期につながる受注を獲得。
これからも世界に向け、
新しいものづくりを
提唱し続けていきます。

Q 当期(2016年3月期)の主な取り組みと業績について説明してください。

A 第4四半期に受注が拡大し、製造工場はフル稼働を続けています。

ホールガーメント®横編機開発20年の節目の年となる当期は、11月にイタリア・ミラノで開催された世界最大の国際繊維機械見本市ITMA展への出展をはじめ、国内外のさまざまなユーザーの要望に応えるべく、各市場の顧客に密着した提案活動を展開しました。

当期の連結売上高は、495億82百万円(前期比2.5%増)となり、前期に引き続き増収を達成しました。一方、営業利益は、前期に特別損失を計上したインドネシアの顧客向けの売上債権に貸倒引当金を追加繰入したことなどで販売費及び一般管理費が増加し、57億81百万円(同0.6%増)にとどまりました。経常利益は45億32百万円(同46.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は32億71百万円(同10.3%減)と前期に比べて減益となりました。この主な要因は、期末にかけて急速に進んだ円高により発生した約19億円の為替差損です。

ITMA展以降、世界各国で受注が拡大しており、期末時点

の受注残も非常に多く、お客様に製品を早くお届けするため、工場はフル稼働を続けています。次期もこの勢いを持続し、事業全体を新たな成長軌道に乗せていきます。

Q 事業分野別の状況について説明してください。

A ITMA展での成果もあり、ホールガーメント横編機やデザインシステムの販売が各地で伸長しました。

横編機事業では、欧米アパレルの生産拠点であるバンラデシュやASEAN諸国が全体を牽引しました。また、中東のトルコでも、欧州アパレルの短納期要請への対応によって競争力が回復し、設備投資が大きく伸長しました。中国市場は、国内需要をターゲットとして品質の向上により競争力の回復を図る提案営業を進めたことで前期並みの売上を確保しました。先進国市場では、ファッション産業の中心地イタリアが回復基調となったほか、米国では自国内生産の機運が高まり、売上が増加しました。また、国内市場もホールガーメント横編機「MACH2[®]XS」を中心に、好調に推移しました。



ロザンゼルス ショールームでの個展



フランクフルトの展示会



東北アパレル産業機器展

デザインシステム関連事業では、「SDS[®]-ONE APEX3」がニット業界だけでなく、デザインツールとして異業種への導入が進み、出荷台数を伸ばしました。自動裁断機「P-CAM[®]」も国内を中心に販売を広げ、自動車内装部品や家具関連、航空機関連、産業資材分野など、幅広い業界で売上が伸びました。

Q 次期の施策と業績見通しについて説明してください。

A 最新機種「MACH2XS」を核に、ホールガーメント横編機の拡販を目指します。

次期も引き続き各国・地域に密着したグローバルな提案活動を進めていきます。注力する製品は、ホールガーメント横編機20年の集大成として発表した「MACH2XS」です。編成できる商品バリエーションの豊富さ、生産性、安定性、操作性など、全てにおいて従来のホールガーメント横編機を超えた画期的な製品であり、次期は欧州や米国、日本、韓国など、全世界の市場に向けホールガーメント横編機を積極的に提案し、拡販を目指します。

また、横編機の最大市場である中国市場では、市場ニーズが転換期を迎え、従来よりも高品質かつ競争力の高いニット衣料が求められていることから、技術指導や蓄積したノウハウの提供により販売拡大につなげていきます。さらに、ユーザー業界の動きとして、スポーツシューズ関連へのコンピュータ横編機の活用も拡大してきており、さまざまな潜在するニーズを掘り起こしていきます。

デザインシステム関連事業では、引き続き「SDS-ONE APEX3」、「P-CAM」を中心に、さらなる営業活動に注力します。「SDS-ONE APEX3」は「トータルファッションシステム®」の中核として国内外でニット産業以外の異業種への提案を強化します。国内を中心に販売を伸ばしてきた「P-CAM」も海外展開を本格化し、国内で培った技術力・品質力を武器に提案を広げていきます。

これらの取り組みにより、次期の連結業績は売上高630億円、営業利益115億円、経常利益110億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円を計画しています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 幅広い分野に「トータルファッションシステム」の提案を広げ、イノベーションを起こしていきます。

当期の株主の皆様への配当金については、中間配当金15円、期末配当金はホールゲーム横編機20年の記念配当2円50銭を加えた22円50銭とし、年間配当金は1株につき37円50銭で実施させていただきました。

中長期的な経営方針として、当期に策定した中期経営



計画「Ever Onward 2017」に基づいて進めていきます。これからの時代は、大量生産時代の「分業」の構造を変革し、多品種少量に対応した「一貫したものづくり」がますます求められてきます。それはまさに当社が30年以上前から提唱し続けてきた「トータルファッションシステム」による全工程の“つながり”に他なりません。

昨年のITMA展では、当社と豊田自動織機様との共同開発による織物向けデザインシステム「APEX-T」も発表されました。高精細なバーチャルサンプルの有効性を豊田自動織機様に高く評価していただいたことで実現したこの共同開発により、「トータルファッションシステム」がニット以外の分野においてもイノベーションを起こせると確信しています。

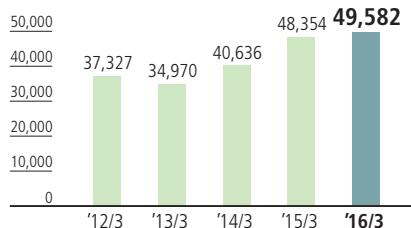
今後も当社は、さまざまな業界に貢献し、世界のものづくりを変革していきます。株主の皆様には、引き続き当社への温かいご理解とご支援をお願いいたします。

財務ハイライト(連結)

科 目		当 期 2016年3月期	前 期 2015年3月期	前期比
売上高	(百万円)	49,582	48,354	2.5%
営業利益	(百万円)	5,781	5,745	0.6%
経常利益	(百万円)	4,532	8,470	△ 46.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	3,271	3,645	△ 10.3%
1株当たり当期純利益	(円)	95.61	106.54	△ 10.3%
総資産	(百万円)	126,415	126,987	△ 0.5%
純資産	(百万円)	98,293	98,179	0.1%
ROE(自己資本当期純利益率)	(%)	3.3	3.8	△ 0.5ポイント

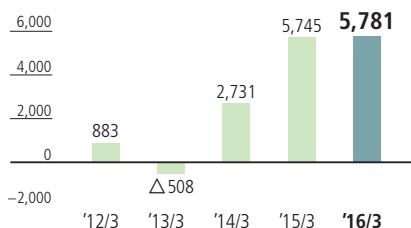
売上高

(百万円)



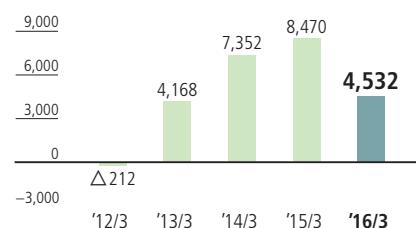
営業利益・損失(△)

(百万円)



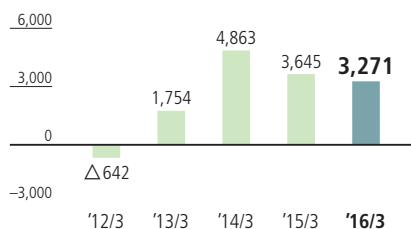
経常利益・損失(△)

(百万円)



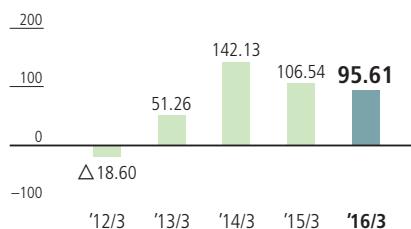
親会社株主に帰属する 当期純利益・損失(△)

(百万円)



1株当たり当期純利益・損失(△)

(円)



1株当たり配当金

(円)

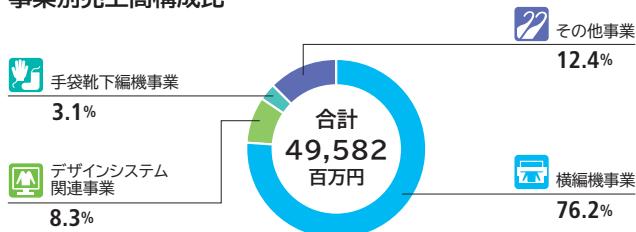


将来の見通しについて

本報告書に記載されている将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて行った予測であり、実際の業績は、さまざまな要素により、これら予測とは異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

事業別のご報告(連結)

事業別売上高構成比



横編機事業



主力のアジア市場では、欧米アパレルの生産拠点であるバングラデシュやTPPを見据えて設備投資が拡大するベトナムなどのASEAN諸国で、コストパフォーマンスに優れた「SSR®」や高速編成が可能な「SVR®」を中心に販売を伸ばしました。中東のトルコでも、欧州アパレルの短納期要請に対応することで競争力が回復し、「SVR」を中心に大幅な売上増加となりました。中国市場では生産地から消費地への市場ニーズの質的変容が進み、より上質な衣料製品を編める上位機種構成比が高まりました。

「消費地型生産」の動きが顕在化してきた欧米先進国市場では、11月のITMA展出展以降、イタリアをはじめ各国でホールガーメント横編機「MACH2®XS」や織物風合いのニットが編成できる「SRV®」を中心に受注が拡大しました。また、国内市場も「MACH2XS」を中心に好調に推移しました。

これらの結果、横編機事業の売上高は378億6百万円(前期比4.7%増)となりました。

デザインシステム関連事業

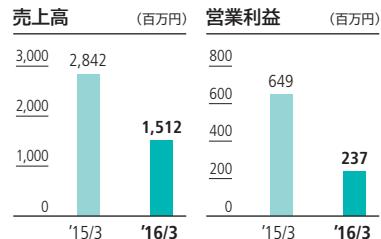


「SDS®-ONE APEX3」は、ニット業界以外にもテキスタイルやインテリア

ア、家具、雑貨などの異業種にもデザインツールとして導入が広がりました。自動裁断機「P-CAM®」は、各業界のニーズに合わせて機種バリエーションを拡充し、アパレル分野以外にも幅広い分野で売上を伸ばしました。これらにより、売上高は41億36百万円(前期比13.5%増)となりました。

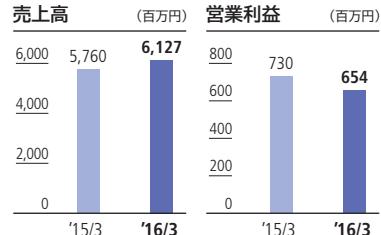
手袋靴下編機事業

手袋靴下編機事業は、前期に売上を大幅に増加したことの反動に加え、作業用手袋の需要が落ち込んだことで、売上高は15億12百万円(前期比46.8%減)となりました。



その他事業

保守部品の販売や、カシミア関連事業が好調に販売を伸ばした結果、売上高は61億27百万円(前期比6.4%増)となりました。



ITMA 2015

2015年11月12日~19日開催
 ~シマセイキの圧倒的な総合力を世界にアピール

ホールガーメント®横編機20年の節目となる2015年、当社はイタリア・ミラノで開かれた世界最大の国際繊維機械見本市「ITMA 2015」に出展しました。

ブースではホールガーメント横編機「MACH2®XS」、デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」をはじめ、欧州初出展となる自動裁断機やインクジェットプリンティングマシンなど多彩な商品展示とデモを実施。

「トータルファッションシステム®」を具現化できるものづくりと流通のイノベーションを提案し、総合メカトロニクス企業としての高い技術力を全世界のお客様にアピールしました。

横編機

ホールガーメント横編機の集大成 「MACH2XS」

世界で初めて可動型シンカー装置を搭載したホールガーメント横編機「MACH2XS」を同展示会で初披露。この最新機種により、生産性向上に加え、立体的なデザインをより安定的に編成することが可能になりました。

バーチャルフィッティングシステム

カメラの前に立つだけで試着体験

ブース内には「バーチャル試着」ができるフィッティングルームも初出品。モニター前に立つとカメラが人の動きを認識し、試着画像が合成されます。「SDS-ONE APEX3」で配色展開などの加工を行った写真やバーチャルサンプルも取り込み可能です。



製品活用紹介

インテリアや家具業界に向けてアピール

インテリアコーナーでは椅子カバーや行灯、着物、掛け軸など、さまざまなアイテムを通してMADE IN JAPANをアピールするとともに、インテリアや家具分野にも当社の横編機で編成したニット製品が応用できることを訴求しました。

Milano



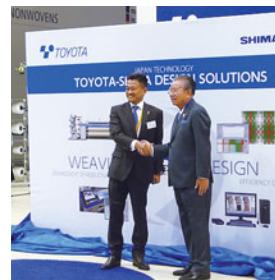
自動裁断機

自動裁断機を欧州初出展

国内で高い実績を持つ自動裁断機「P-CAM®」を初出展。近年、アパレル業界のみならず産業用資材の裁断に対応した機種など、シリーズの拡充を図っています。同展示会では、横編機だけにとどまらない当社の総合力をアピールしました。

豊田自動織機様との共同開発による「APEX-T」を発表

豊田自動織機様のブースで、同社とシマセイキの共同開発による織物用デザインソリューションシステム「APEX-T」が発表されました。この共同開発は、デザインシステムを中核とする「トータルファッションシステム」のコンセプトに着目した豊田自動織機様からの提案で実現したものです。「APEX-T」の活用によって織物のデザイン作成からシミュレーション、実際の生産まで“All in One”での管理が実現します。今回の協業を機に、当社はテキスタイル分野のノウハウを蓄積するとともに、ニット・アパレル以外の分野への提案を広げていきます。



マシンゾーン

シマセイキブース

生産管理システム

複数のニット生産の全工程を見える化

昨今、ニット生産拠点の分散がみられる中、ユーザーであるニットメーカーでは、その生産管理の面も複雑化してきており、それらのサポートも非常に重要になってきています。全工程が可視化できる生産管理システム「Shima KnitPLM」を開発し、参考出品しました。

最高の品質を目指し、デザインシステムでチャレンジ

設立70年を機に、タグライン「TIMELESS WORK. ほんとうにいいものをつくろう。」を策定し、高品質を目指したものづくりにチャレンジする三陽商会様。

その中で、当社が提唱する「トータルファッションシステム®」の中核を担う

デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」がどのように活躍しているかお話を伺いました。

TIMELESS WORK.

ほんとうにいいものをつくろう。

高品質製品を作るための デザインシステム活用フロー

1. 商品企画・検討



お客様が魅力を感じる商品を提供していくために、部門スタッフ全員でアイデアを出し合い、具体的な形に落としていきます。

2. デザイン作成



デザイナーがシマセイキのデザインシステムを使って、さまざまなシミュレーションを行い、最適な商品のデザインを決めていきます。



デザインシステム「SDS-ONE APEX3」

SHIMA SEIKI Value



デザインシステムは、バーチャルのデザインデータを制作すると同時に、実際に横編機を動かすための編地データも生成するので、短時間でサンプルを作成できます。

3. サンプル作成

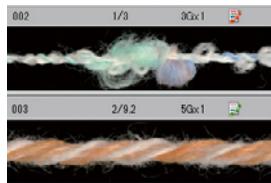


4. サンプルでの確認



「アトリエ」で実際に編んだサンプルの風合いや手触りをしっかり確認し、商品の完成度をさらに高めていきます。

SHIMA SEIKI Value



使いたい糸をスキャンして取り込み、最終製品のイメージをシミュレーションできます。また、バーチャルサンプルを使うことで、仕上りのイメージを皆で共有する“目線合わせ”が可能になります。

新潟にある自社の「アトリエ」で、編地データを整えてサンプルを作成。





デザインシステムによる“目線合わせ”を活かし、
これからもお客様に「いいもの」を提供していきます

株式会社三陽商会

取締役 兼 専務執行役員 事業本部長 企画生産管掌

佐久間 睦 様



高品質なものづくりのため、 ニットも社内で企画デザインしています。

レインコートから発祥した当社は、長年コートなどの布帛の製造販売を主力としてきましたが、お客様へのシーン提案の幅をより広げたいため、約20年前にニット製品を専門に開発する組織を設立しました。それ以来、ニットにおけるものづくりも強化を図っています。

当社の合言葉は「ほんとうにいいものをつくろう」。ニット分野においても各ブランドにふさわしい、高品質なものづくりに注力しています。

ニットでは特に“目線合わせ”が重要。 デザインシステムは欠かせない武器です。

布帛製品の場合は、生地を見ればある程度仕上がりのイメージが皆で共有できますが、ニット製品は素材が糸のため、イメージの共有、すなわち“目線合わせ”が難しいという問題がありました。

その課題に悩んでいるときに出会ったのがシマセイキのデザイン

システムでした。ものづくりに携わる全てのスタッフ間での“目線合わせ”が容易になり、デザインシステムを活用し、リアルなビジュアルサンプルをシミュレーションすることで、工程の短縮や効率化のみならず、品質をさらに高めることができます。

新潟の「アトリエ」で生産工場との連携に取り組んでいます。

当社では、ニット生産の集積地である新潟に開発拠点として「アトリエ」を設け、デザイン力を強化するとともに、生産工場との協力関係を強化しています。

今後もアトリエと工場間でデータでの連携を高めるなど、企画・デザインから生産までのプロセスの中でシマセイキのデザインシステムをフルに活用して、より高品質な製品づくりを目指していきます。また、ネット販売事業においても3Dバーチャルシミュレーションを活用するなど、さらなるお客様の満足度向上をこれからも追求していこうと考えています。

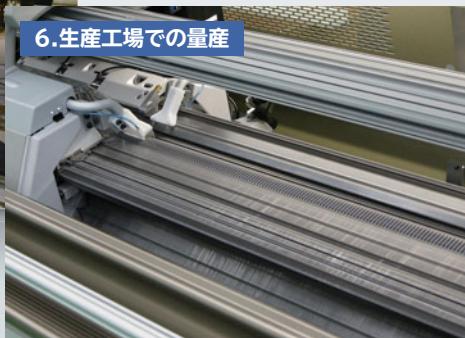
展示会では、ブランドごとに店舗を想定し、出来上がった商品を紹介していきます。外部関係者から評価をいただき、色、サイズなど生産量を判断しています。

5. 展示会開催



「アトリエ」で作った編地データを生産工場に送れば即生産がスタート。タイムリーに商品が店頭で陳列されます。

6. 生産工場での量産



株式会社三陽商会

www.sanyo-shokai.co.jp

1943年 設立

1977年 東京証券取引所市場第一部指定

2015年 J∞QUALITY 商品認証
第1号を取得

2013年に設立70年を迎えた、東京に本社を置く総合アパレル企業。「100年コート」で日本が世界に誇る品質の証であるJ∞QUALITY商品認証の第1号を取得するなど、価値あるものづくりにこだわり、多数のブランドを展開。また、「サンヨー・アイストア」などEコマース事業の拡大を推進。最近では「服育」や「わたつむぎ」などCSR活動にも注力している。

EPOCA

EPOCA
UOMO



AMACA

TO BE CHIC

2016年3月期の取り組み

第55期

2015年

- 4月19日 C S R クラシックスポーツカーの祭典「ラ フェスタ プリマヴェラ 2015」に協賛 ①
- 5月 4日 展示会 産業用繊維・不織布展示会「Techtextil 2015」に出展【ドイツ】
- 27日 展示会 「SHIMA SEIKI 東京総合展」を開催
- 6月26日 組 織 第54回定時株主総会を開催【和歌山】
- 7月 1日 展示会 糸の展示会「77th PITTI IMMAGINE FILATI」に出展【イタリア】
- 29日 その他 皇太子殿下が当社をご視察
- 8月 5日 発 表 中期経営計画「Ever Onward 2017」を発表
- 9月21日 販 促 ロサンゼルスにショールームを開設【アメリカ】 ②
- 26日 C S R 紀の国わかやま国体に衣装提供
- 30日 展示会 材料と技術の複合展「N+ (エヌプラス) 展」に出展【東京】 ③
- 10月 1日 組 織 シマセイキ本社がISO14001認証を取得
- 15日 展示会 「53rd FISMA TOKYO (東京ファッション産業機器展)」に出展【東京】
- 11月12日 展示会 国際繊維機械見本市「ITMA 2015」に出展【イタリア】
(ITMA展にて豊田自動織機様と共同開発でデザインシステム「APEX-T」を発表)
- 26日 発 表 シマセイキグループ・東洋紡糸工業が世界初となる紡績技術「イーフィール」を発表 TOPICS →
- 12月 2日 展示会 「SAMPE JAPAN 先端材料技術展 2015」に出展【東京】
- 9日 展示会 「JAPAN BEST KNIT SELECTION 2015」に協賛・出展【東京】

2016年

- 1月11日 展示会 「SHIMA SEIKI 香港総合展 (SHIMA CROSS TEX)」を開催 ④
- 21日 放 映 テレビ東京系列「カンブリア宮殿」で当社紹介
- 2月 8日 説明会 個人投資家説明会を開催【和歌山】 ⑤
- 25日 説明会 個人投資家説明会を開催【東京】
- 29日 展示会 ロサンゼルスショールームで個展「Global 3D Knitting Seminar」を開催 TOPICS →
- 3月 1日 展示会 糸の見本市「SPIN EXPO 2016」に出展【中国】
- 18日 C S R よみうりランド「グッジョバ!!」にアトラクション「マイニット」で協賛【東京】 → P.13

第56期 (予定含む)

- 4月15日 受 賞 シマセイキ本社工場が「平成28年 緑化推進運動功労者 内閣総理大臣表彰」を受賞
- 10月21日 展示会 「ITMA ASIA+CITME 2016」に出展【中国】



①



②



③



④



⑤

TOPICS

業界にイノベーションを起こす 「世界初」の紡績技術をグループ会社が開発

シマセイキグループの東洋紡糸工業は、2015年11月、世界初の紡績技術「E-FILU(イーフィール)」を発表しました。

従来の紡績法は紡績工程で繊維にダメージを与えるため、時間の経過とともに変色や風合いの劣化などの問題がありました。これに対しイーフィールは、繊維の状態をほぼ損なうことなく、これまでにない白度や鮮やかな発色の糸を製造できます。

同社は1930年に日本で初めてカシミア糸の生産に成功するなど、カシミア紡績で世界有数の品質、技術を有する企業ですが、この技術はカシミア以外の動物繊維にも応用できます。当社グループでは、この革新的な紡績技術を活かし、製品力のさらなる強化を図っていきます。



E-FILU



TOYOBOSHI
Finest Cashmere Yarns
since 1930
JAPAN Quality YARNS



イーフィールのサンプル

TOPICS

米国ロサンゼルスで個展を開催 トータルファッションシステム®を訴求

2015年9月に開設したロサンゼルスショールームで2016年2月29日から5日間、個展「Global 3D Knitting Seminar」を開催しました。西海岸に集積するニットメーカーや大手スポーツアパレルなどに、「SDS®-ONE APEX3」を中核とする「トータルファッションシステム」をアピールし、米国市場に新しいものづくりを浸透させることが狙いです。

会場では連日、当社製品を活用する多彩なユーザーによるセミナーを実施。その効果もあり、2、3日にわたって来場する積極的なお客様も多く、ニットメーカーのみならず、家具メーカー、スポーツアパレルなど多様な業種からの引き合いを得ることができました。



セミナーの様子

CSR:次世代への取り組み

よみうりランドの新施設「グッジョバ!!」に協賛 ホールガーメント®横編機を使った アトラクションを提供

遊びを通して日本のモノづくり技術が学べる

当社は、よみうりランド(東京都稲城市、川崎市)に2016年3月オープンした日本最大となる「モノづくり」が体感できる新遊園地エリア「グッジョバ!! GOOD JOB ATTRACTIONS」に協賛し、ホールガーメント横編機を使ったアトラクションを提供しました。

自動車、食品、ファッション、文具の4つの“factory”で構成された「グッジョバ!!」は、多彩なアトラクションとワークショップを通して「楽しみながらモノづくりを体感できる」新タイプの施設。日本初の4機種を含む全15機種のアトラクションが楽しめるほか、車の模型やカップ焼そば、織物、文具などのモノづくりを実際に体験できるワークショップも毎日開催されています。

ファッション作りの楽しさを次世代に伝える

当社が株式会社ワールド様とともに協賛する「FASHION factory」では、生地のカットや縫製など洋服の製造工程からファッションショーまでの一連の流れが体感できるジェットコースター「スピンランウェイ」と、当社がホールガーメント横編機を提供した「マイニット」の2種類のアトラクションが楽しめます。

「マイニット」は、オリジナルの編み物を作るアトラクションで自転車やボートを漕いだり、身体を動かして編機に動力を伝えることで、自分のイニシャルの入ったオリジナルコースターが編み上がります。身体を速く動かすほど編機も高速で稼働するので、親子や友達同士で完成スピードを競い合っ楽しむこともできます。これからも当社はモノづくりの楽しさ、素晴らしさを、日本の未来を担う子ども達に発信していきます。



マイニット



イニシャル入りオリジナルコースター

株主様アンケート集計結果のご報告

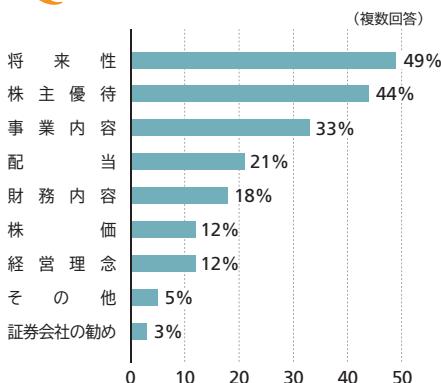
当社では株主の皆様の声をお聞かせいただくため、ハガキによるアンケートを定期的実施しています。昨年12月発行の第55期第2四半期「株主のみなさまへ」に同封したアンケートに対し、全体の16%にあたる3,000名を超える

株主様からご回答をいただきました。

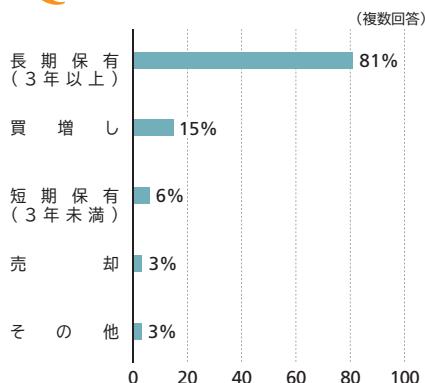
皆様から頂戴した貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の事業活動やIR活動に活かしてまいります。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

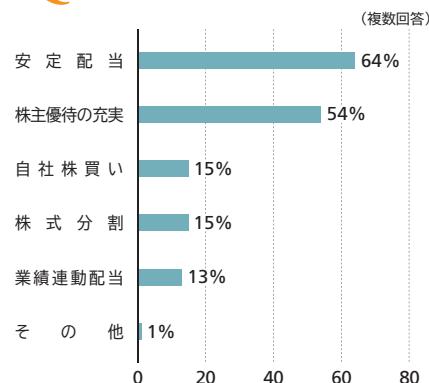
Q.1 当社の株式を購入された理由は何ですか？



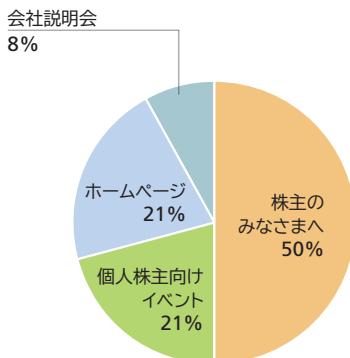
Q.2 当社の株式について今後どのようにお考えですか？



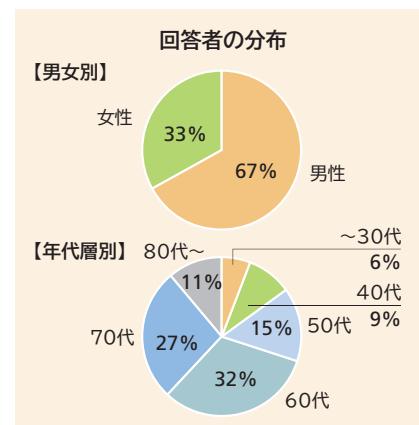
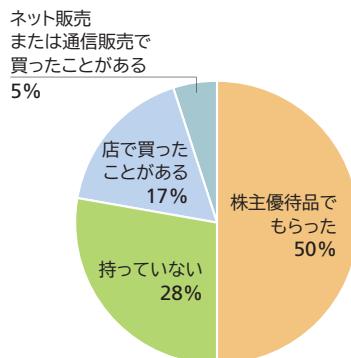
Q.3 株主還元に関して当社に期待されることは何ですか？



Q.4 IR活動について、どのような情報提供の充実を希望されますか？



Q.5 当社の編機で作られるホールゲーム®(無縫製ニット)について



連結財務諸表(要約)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2016年3月31日現在	2015年3月31日現在
流動資産	89,983	88,104
現金及び預金	11,158	14,512
受取手形及び売掛金	58,313	52,578
その他	22,361	22,309
貸倒引当金	△ 1,850	△ 1,295
固定資産	36,431	38,882
有形固定資産	20,442	20,013
土地	10,909	10,891
その他	9,532	9,122
無形固定資産	4,428	5,157
のれん	4,311	5,040
その他	116	116
投資その他の資産	11,561	13,711
投資有価証券	7,070	7,735
その他	8,659	9,645
貸倒引当金	△ 4,168	△ 3,668
資産合計	126,415	126,987

1

POINT 1 資産合計

現金及び預金や投資有価証券の減少により、前期末に比べ5億71百万円減少しました。

POINT 2 負債合計

未払法人税等の減少により、前期末に比べ6億85百万円減少しました。

POINT 3 純資産合計

当期純利益の計上により利益剰余金が増加しましたが、円高による為替換算調整勘定が減少したことにより、前期末に比べ1億13百万円増加しました。

科 目	当 期	前 期
	2016年3月31日現在	2015年3月31日現在
流動負債	19,548	20,050
支払手形及び買掛金	6,716	6,384
短期借入金	6,002	6,250
その他	6,830	7,415
固定負債	8,573	8,756
長期借入金	5,000	5,000
その他	3,573	3,756
負債合計	28,122	28,807
株主資本	104,810	102,653
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	75,135	72,975
自己株式	△ 6,908	△ 6,906
その他の包括利益累計額	△ 6,708	△ 4,668
その他有価証券評価差額金	124	835
土地再評価差額金	△ 7,003	△ 7,004
為替換算調整勘定	△ 29	1,311
退職給付に係る調整累計額	200	188
新株予約権	180	180
非支配株主持分	10	14
純資産合計	98,293	98,179
負債純資産合計	126,415	126,987

2

3

POINT 4 売上高

横編機事業は11月にミラノで開催されたITMA展以降受注が拡大し、アジア市場や中東市場を中心に販売が伸長し、デザインシステム関連事業においても、販売が順調に伸びました。しかし、手袋靴下編機事業は前期に比べ低調となりました。その結果、売上高は495億82百万円(前期比2.5%増)となりました。

POINT 5 営業利益

円換算販売価格の向上や増産効果などにより売上総利益率は上昇しましたが、前期に特別損失を計上したインドネシアの顧客向け売上債権に対して貸倒引当金約12億円を追加繰入したことなどで販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は57億81百万円(前期比0.6%増)となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年4月1日から 2016年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
4 売上高	49,582	48,354
売上原価	26,237	26,488
売上総利益	23,345	21,865
販売費及び一般管理費	17,563	16,120
5 営業利益	5,781	5,745
営業外収益	1,111	3,333
営業外費用	2,360	607
6 経常利益	4,532	8,470
特別利益	293	97
特別損失	23	1,562
税金等調整前当期純利益	4,803	7,006
法人税、住民税及び事業税	1,847	2,926
法人税等調整額	△ 315	432
当期純利益	3,271	3,646
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,271	3,645

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	当 期	前 期
	2015年4月1日から 2016年3月31日まで	2014年4月1日から 2015年3月31日まで
7 営業活動による キャッシュ・フロー	1,257	△ 1,956
8 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,350	2,287
9 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,776	△ 1,966
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 542	980
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 3,412	△ 655
現金及び現金同等物の 期首残高	13,164	13,819
現金及び現金同等物の 期末残高	9,752	13,164

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					新株 予約権	非支配 株主持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計			
2015年4月1日残高	14,859	21,724	72,975	△ 6,906	102,653	835	△ 7,004	1,311	188	△ 4,668	180	14	98,179
会計方針の変更を反映した 当期首残高	14,859	21,724	72,975	△ 6,906	102,653	835	△ 7,004	1,311	188	△ 4,668	180	14	98,179
連結会計年度中の変動額													
剰余金の配当			△ 1,112		△ 1,112								△ 1,112
親会社株主に帰属する当期純利益			3,271		3,271								3,271
自己株式の取得				△ 1	△ 1								△ 1
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						△ 711	1	△ 1,341	11	△ 2,040	—	△ 4	△ 2,044
連結会計年度中の変動額合計	—	—	2,159	△ 1	2,157	△ 711	1	△ 1,341	11	△ 2,040	—	△ 4	113
2016年3月31日残高	14,859	21,724	75,135	△ 6,908	104,810	124	△ 7,003	△ 29	200	△ 6,708	180	10	98,293

POINT 6 経常利益

営業外で為替差損18億93百万円を計上したことなどにより、経常利益は45億32百万円(前期比46.5%減)となりました。

POINT 7 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加による資金減少はありましたが、貸倒引当金や仕入債務の増加などにより、12億57百万円の資金の増加となりました。

POINT 8 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻や投資有価証券の売却による収入などがありましたが、有形固定資産や投資有価証券の取得などにより、23億50百万円の資金の減少となりました。

POINT 9 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払やファイナンス・リース債務返済による支出などにより、17億76百万円の資金の減少となりました。

会社概要

会社概要 (2016年3月31日現在)

商号 株式会社島精機製作所
 (英文表記) SHIMA SEIKI MFG., LTD.
 本社 和歌山県和歌山市坂田85番地
 創立 1962年2月4日
 資本金 148億5,980万円
 従業員数 1,244名(連結1,788名)
 事業内容 コンピュータ横編機
 コンピュータデザインシステム
 自動裁断機
 手袋靴下編機



本社ビル

事業所 (2016年3月31日現在)

支店、テクニカルサービスセンター (TSC)

東京支店	(東京都中央区)
東京 TSC 甲府	(山梨県中巨摩郡昭和町)
東京 TSC 太田	(群馬県太田市)
東日本支店	(新潟県五泉市)
東日本 TSC 山形	(山形県山形市)
東日本 TSC 福島	(福島県伊達市)
西日本支店	(大阪市北区)
西日本 TSC 名古屋	(名古屋市中区)
西日本 TSC 泉州	(大阪府泉大津市)
西日本 TSC 四国	(香川県東かがわ市)
海外支店 台北支店	(台北市)
工場 本社工場	(和歌山県和歌山市)

役員 (2016年6月28日現在)

地位	氏名	担当および重要な兼職
代表取締役社長	島 正博	営業本部長
取締役副社長	島 三博	営業本部副本部長兼経営企画部担当
常務取締役	和田 隆	生産本部長兼生産技術部、製造技術部、システム生産技術部担当
常務取締役	有北 礼治	開発本部長
常務取締役	梅田 郁人	営業本部副本部長兼島精機(香港)有限公司CEO
取締役	藤田 紀	総務人事部長
取締役	中嶋 利夫	トータルデザインセンター部長
取締役	南木 隆	経理財務部長兼管理部、物流部担当
取締役	西谷 泰和	資材部長
取締役	西川 清方	営業統括部長
取締役	一柳 良雄	株式会社一柳アソシエイツ 代表取締役&CEO
取締役	残間 里江子	株式会社キャンディッドプロデュース 代表取締役社長
常勤監査役	植田 光紀	
常勤監査役	田中 雅夫	
監査役	新川 大祐	公認会計士・税理士
監査役	野村 祥子	弁護士

(注) 1. 取締役 一柳良雄、残間里江子の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 新川大祐、野村祥子の両氏は、社外監査役であります。

連結子会社 (2016年3月31日現在)

株式会社シマファインプレス	(和歌山県和歌山市)
ティーエスエム工業株式会社	(和歌山県和歌山市)
株式会社海南精密	(和歌山県海南市)
東洋紡糸工業株式会社	(大阪府泉北郡忠岡町)
SHIMA SEIKI EUROPE LTD.	(イギリス)
SHIMA SEIKI U.S.A. INC.	(アメリカ)
島精機(香港)有限公司 (SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.	(イタリア)
島精榮榮(上海)貿易有限公司 (SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.	(スペイン)
東莞島榮貿易有限公司 (SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)	(中国)
SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.	(タイ)
SHIMA SEIKI KOREA INC.	(韓国)

株式概要

株式の状況 (2016年3月31日現在)

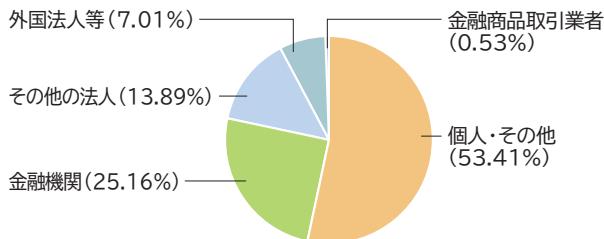
- ①発行可能株式総数…………… 142,000,000株
- ②発行済株式の総数…………… 36,600,000株
- ③株主数…………… 18,113名
- ④大株主

(千株未満切り捨て)

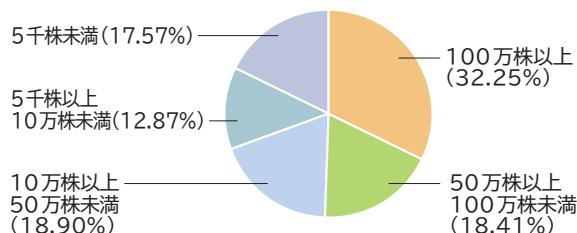
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
和島興産株式会社	4,020	11.75
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,810	5.29
株式会社紀陽銀行	1,459	4.26
島 正 博	1,070	3.13
島 三 博	1,061	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
合 同 会 社 和 光	780	2.28
シマセイキ社員持株会	704	2.06
株式会社池田泉州銀行	700	2.05
後 藤 ひ ろ み	697	2.04

(注)当社は、自己株式2,382千株を保有していますが、上記大株主から除外しています。
持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

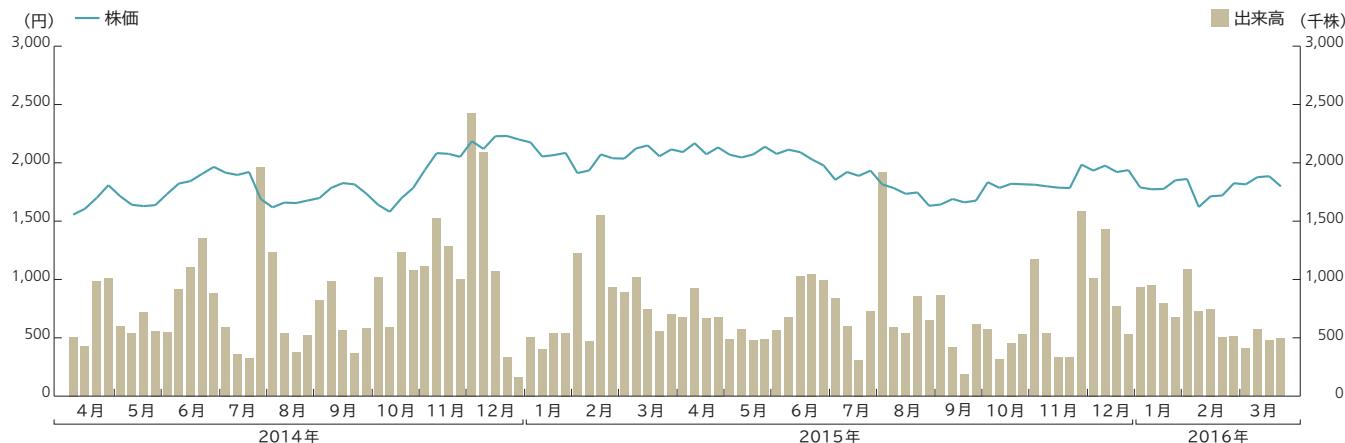
⑤所有者別分布



⑥所有数別分布



株価と出来高の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	基準日	3月31日
	開催日	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告方法	電子公告	
	下記当社ホームページに掲載 (http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載	

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取り次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地
TEL(073)471-0511(代表)

<http://www.shimaseiki.co.jp/>

SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーメント、MACH2、SWG、SSR、SVR、SRY、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、トータルファッションシステムは、株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。

この冊子に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。

株主優待のご案内

当社では、毎年3月末日と9月末日を基準日として、単元株主様に株主優待を実施しています。

3月期のご優待では、オリジナルのホールガーメント®(無縫製ニット)製品や直営飲食施設での取扱商品など、每期趣向を凝らしてお贈りしています。2016年3月期につきましても、ご所有の株数によりホールガーメント製品や直営飲食施設での取扱商品のお届けを予定しております。

9月期のご優待では、南紀白浜にあるホテル「オーベルジュサウステラス」の優待割引券を予定しております。

なお、内容の詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。

2016年3月期 株主優待品例



※ご所有の株数によりお届けする品物は異なります。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。



この報告書は環境にやさしいベジタブルインキを使用しています。